

学習には不向きです！

写真の様な文房具が見られます。うまく作業ができずに時間がかかったり，授業に集中できず手遊び（手まぜ）の道具になったりしています。

<p>のり</p> <ul style="list-style-type: none"> × 香り付き × ラメ入り × はけで塗るタイプ ○ スティックのり ○ 先端がスポンジの液状のり 	<p>はさみ</p> <ul style="list-style-type: none"> × 収納タイプ × 小さすぎ × 持ち手が棒状 ○ 使いやすい大ききさで持ち手が輪のもの 
<p>消しゴム</p> <ul style="list-style-type: none"> × 形がキャラクター × 香り付き × 消えにくい ○ プラスティック製で消えやすい消しゴム 	<p>ふでばこ</p> <ul style="list-style-type: none"> × 中身が多すぎ × ごちゃごちゃ × ぱんぱん ○ 中身を一目で見渡せ，すぐに取り出せる 
<p>定規 こねやすい！</p> <ul style="list-style-type: none"> × 絵柄付き × 折りたたみ式 ○ 15 cm 程度の，<u>めもりが読みやすいもの</u> 	<p>鉛筆</p> <ul style="list-style-type: none"> × 丸形 △ キャラクター ○ Bか2B鉛筆を5～6本 ○ 6 cm 以下で交換 ○ 角があるもの 
<p>シャープペンシル/多色ボールペン</p> <ul style="list-style-type: none"> × 学校には持っ来ない。 …上記の文具と合わせて，今持っているものは，家庭で使う。 	<p>※文房具を購入する際は，<u>シンプルで機能性が高いもの</u>を選ぼう。学校での学習に不向きなものは，家庭学習で使用するようにしましょう。</p> <p>※文房具の購入や学習用具の準備は，<u>保護者の監督・指導の下</u>に行う。</p> <p>※なくなったり，増えたりしたものが<u>ないか</u>，保護者は<u>子どもの持ちもの状況を把握</u>しておきましょう。</p>

ふでばこ なかみ ひょう 筆箱の中身チェック表

() 年 () 組 名前 ()

チェックするもの	これがおすすめ!	5月～3月まで
えんぴつ 鉛筆	5～6本入っている。	///
	朝の時点で しっかり全部の鉛筆をといでいる。	///
	Bか2Bの濃さである。丸くないもの。	///
あか あおえんぴつ 赤・青鉛筆	1本ずつ入っている (※高学年はペンでもよい)	///
け 消しゴム	よく消える、消しやすい大きさの消しゴムである。 (においつきやキャラクターの形ではないもの)	///
三二定規	12～15cmくらいのものが入っている。 (はっきりとめもりが見やすいものがよい)	///
なまえ 名前ペン	油性ペンが1本、よくつくかチェックする。	///
ふでばこ 筆箱	金属製でないもの (できれば箱型の物がおすすめです。 ※縦置き (筒形) は、机の上での安定性の面からおすすめしません。 ※使いたいものがさっと取り出せるものがよい。	///

☆全部〇がいたら、合格です。×がついたところは、早めにそろえましょう。

☆使う道具には、1つ1つに記名をしましょう。(名前シールでもいいです)

☆×がついたものは、早めに交換し、その後は家庭での学習の際に使うようにしましょう。

【用具でその他に注意すること】

チェックすること	5月～3月まで
シャープペンシルは筆箱に入っていない	///
かざ 飾りのついた鉛筆やキャップが入っていない	///
がくしゅう ひつよう 学習に必要なのない色鉛筆や色ペンなどが入っていない	///
ランドセルや筆箱に必要なのないキーホルダーなどを下げている	///
なまえらだ 名前札にはキャラクターなどのシール等をつけていない	///
ほかに、 学習に関係のないものを持っていない	///

保護者様

諸富北小学校

学習用具の確認について

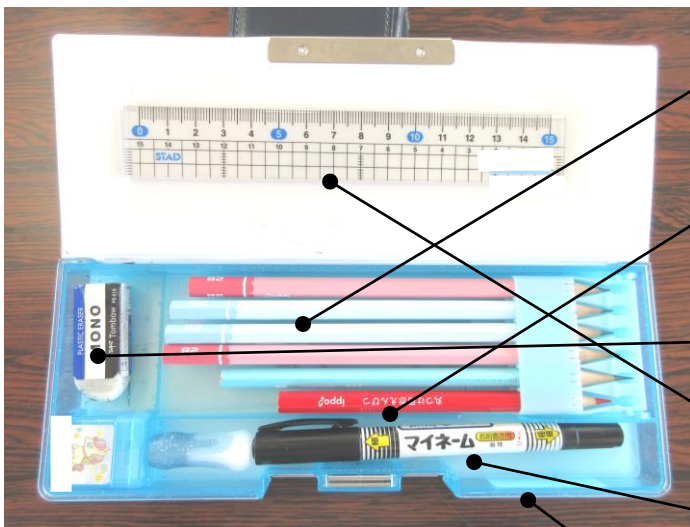
陽春の候、保護者の皆様には日頃より本校の教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、本校では、子どもたちに確かな学力を身に付けるさせるために、基本的な生活習慣や学習規律の徹底を図っているところです。佐賀県から出される「家庭学習の手引き」（家庭訪問時に配布）や諸富校区の「諸富っ子家庭学習の手引き」（ノテレビノゲームノスマホノのカードに記載）を参考に、子どもたちの学習に向かう構えを整え、家庭教育の充実を進めているところです。

そのための1つとして、学習に向かう際に必要な学習用具、筆箱の中身について考えていただきたいと思います。学習時の手遊び（手まぜ）や、文具を多く入れ過ぎた筆箱から必要なものを探して取り出す手間を減らし、集中して取り組める学習用具にしていくために、「**筆箱の中身チェック**」を行っています。子どもたちが主体的に、自分自身で定期的に筆箱の中身の確認をすることにより、本当に学習に必要な道具を意識し、準備する態度を育んでいきます。ご家庭でも、ぜひ子どもたちの筆箱と一緒に確認してみてください。徹底するためには継続が肝心であり、学校と家庭の連携が大切です。そうすることで、いっそう学習規律が身に付き、学習環境が整い、学力向上につながると考えます。趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

また、今後文房具をご購入の際は、できる限りシンプルなものを選ばれるようお願いいたします。（華美なもの、飾りのついたものは、学習への妨げとなったり、トラブルのもととなったりします。）また、全てに確実に記名をお願いします。合わせて「**用具でその他に注意すること**」表でお子様の持ち物の確認をしていただくよう、ご協力お願いいたします。

<理想的な筆箱の中身>



<常時学習で使用するもの>

- ・下敷き（記名を忘れずに）

持ち物	指導内容
鉛 筆	<ul style="list-style-type: none"> ・先がとがったものが5～6本。 ・Bか2Bの濃さで、形は丸くないものがよい。 ・<u>シャープペンシルは不可</u>。
赤鉛筆（赤ペン） 青鉛筆（青ペン）	<ul style="list-style-type: none"> ・本数は1本ずつ。 ・高学年は赤、青ペンでもよい。 ・赤と青が両端になっている鉛筆でもよい。
消しゴム	<ul style="list-style-type: none"> ・よく消え、持ちやすい大きさで、においつきやキャラクターの形ではないもの。カバー付きで。
ミニ定規	<ul style="list-style-type: none"> ・12～15cmくらいのもの。 ・めもりが見やすいもの。
名前ペン	<ul style="list-style-type: none"> ・油性ペンが1本。できれば太細があるもの。よくつくもの。
筆 箱	<ul style="list-style-type: none"> ・金属製ではない箱型がよい。 ・中身全体が見渡せ、さっと取り出せるもの。筒状の置き型ではない方が使いやすい。 ・落書き、シール貼りをせず、キーホルダー等を付けない。 ・不要なカラーペン類は入れない。